

非常時持ち出し品の確認をする

災害復旧には数日間かかります。最低3日間は生活できるように、食料や医薬品などの非常時持ち出し品を準備する必要があります。防災マップのチェックリストを活用し、備えるようにしましょう。



←災害時持ち出し品チェックリスト(P7)

緊急時の連絡先を事前に決める

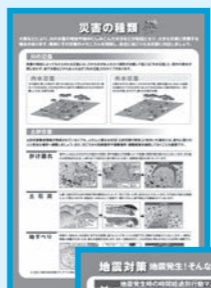
災害時に家族で連絡を取りあったり、救助する人に情報提供したりするための「わが家の防災・緊急情報メモ」のページがあります。事前に情報を整理しておき、変更などがあればその都度修正しておきましょう。



→緊急情報メモ(P8)

学習ページで災害の種類や災害時の対応方法を学ぶ

何となく知っている災害の知識。しかし、緊急時は「何となく」では通用しません！学習ページがありますので、災害の種類や特徴、対応方法などについて、改めてしっかり学んでおきましょう。



↑災害学習ページ(P3)



↑地震対策ページ(P5)



地震の時は…
トクベツタイホウって、なに？

防災マップ活用術

マップは目立つ場所に保管！



皆さんの防災マップ、今どこにありますか？防災マップは、いざという時に素早く取り出せなければ意味がありません。左上にある穴にひもを通し、自宅の目立つ場所に吊り下げるなどして保管しましょう。

自宅付近の危険個所や避難所の位置を確認

防災マップには、土砂・洪水災害危険区域が示されているほか、一時避難所、福祉避難所の場所も記載されています。家族全員で自宅や職場の位置、その付近の危険個所を把握してください。また、災害時にどの道筋で避難所へ向かうのが最も安全か、事前に確認しましょう。マーカーなどで印を付けるのも有効です。



ここがわが家で…

ここが避難所ね！

遠野市 防災マップ

安全で安心なまちづくり



自助

公助

共助

防災対策の決定版！
4月下旬
全戸配布済

防災マップで自分と家族を守る

「防災マップ」の活用方法を紹介します。防災は自助が基本。自分と家族の命を守るために、今すぐできることを行動に移しましょう。

この一冊で対策できる

自分と大切な家族の命を守るために、私たちにできることは何でしょうか。その答えが、防災マップにはあります。同マップは、危険個所や避難所が記載された地図のほか、学習ページや対策ページなども掲載されています。災害時の対応方法だけでなく、平常時の備えについても詳しく知ることができます。この一冊があれば、自助力はぐっと高まるのです。

家族全員で確認しよう

あなたのお家に届いてから、皆さんは家族で防災マップの内容をしっかりと確認しましたか？「実は、まだ…」という人は、今度の休日にも、家族全員で防災マップを開いてみてください。

まず、自宅付近の危険個所や避難所の場所を確認しましょう。そして、緊急時、どのように行動するか事前に話し合ってください。また、対策ページを参考に、今すぐできることを行動に移しましょう。ちょっとした対策が、家族の命を守るにつながります。内容を確認したら、家中で目立つ場所に防災マップを保管しましょう。

防災対策ページで家族の安全を確保する

防災対策ページでは、家の中や周囲の安全対策や、家具の転倒・落下を防ぐポイントなどについて解説しています。特別な安全器具などが無くても、すぐにできる対策もあります。家族にお年寄りや小さな子どもがいらっしゃる方は、ぜひ、このページの活用を！



↓防災対策ページ(P5)

対策例を紹介します



※イメージです

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋に家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性も。

安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

玄関や通路にいろいろな物を置くと、緊急時に出入口をふさいでしまうことも。常にすっきりと。

家具の転倒を防ぐ



これで安心！

地震などで倒れる可能性がある家具には、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全にしましょう。

取材に協力頂きました！

防災マップをしっかり見たのは今回が初めて。地図だけでなく、防災のヒントがたくさん掲載されていることに気がきました。わが家は4世代家族。まだ小さい孫や高齢の母親を守るためにも、この防災マップを活用して災害に備えたいと思います。

菊池 博 さん一家 (松崎町)

